

エコセーバー隼・操作マニュアル

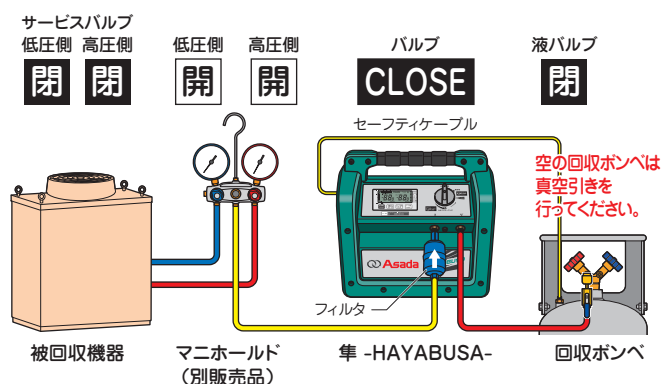
注意

本マニュアルは操作手順の概略を示したものです。
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、
取扱説明書を必ずお読みください。

フロン回収作業

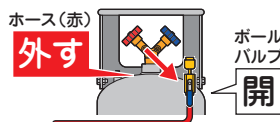
一般的な液回収の操作方法について示します。

1 ホース類の接続と排気



- ① ホース・コード類と各バルブを上図のようにセットする。
※ フィルタの取付方向に注意すること。
回収量 90kg または詰まったときに交換すること。

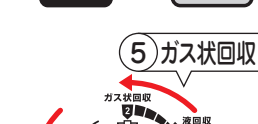
- ② ホース (赤) の
ボールバルブを「開」



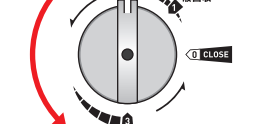
- ③ 自動停止/自動復帰/連続スイッチを
「連続」



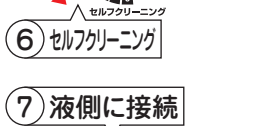
- ④ START/STOP スwitchを
「START」



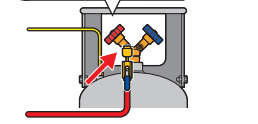
- ⑤ 回収装置のバルブを
「ガス状回収」



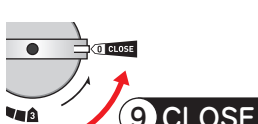
- ⑥ 吸引圧力ゲージや
マニホールドゲージが真真空に
達したら、回収装置のバルブを
「セルフクリーニング」



- ⑦ 再度、吸引圧力ゲージが
真真空に達したら、
一旦外したホースを
ボンベの液側に「接続」



- ⑧ START/STOP スwitchを
「STOP」

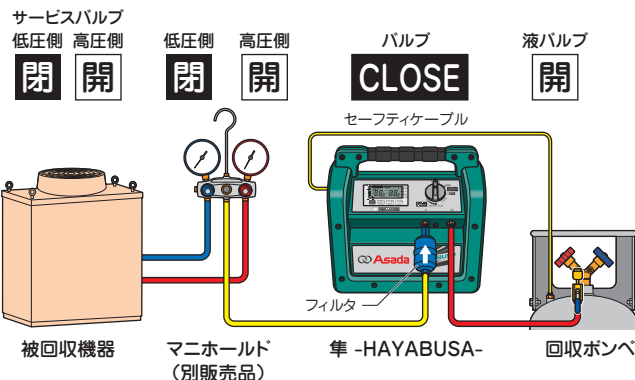


- ⑨ 回収装置のバルブを
「CLOSE」



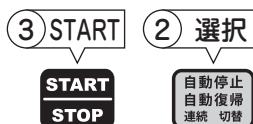
2

回収作業



- ① 各バルブを上図のように操作する。
※ 回収装置のバルブを「CLOSE」に合わせてから、
被回収機器とマニホールド高圧側のバルブを
「開」にしてください。

- ② 自動停止/自動復帰/連続スイッチの
希望モードを「選択」



- ③ START/STOP スwitchを
「START」



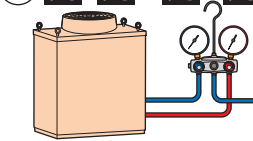
- ④ 回収装置のバルブを
ゆっくりと「液回収」側へ回す
吸引圧力を 0.5MPa 以下に調整



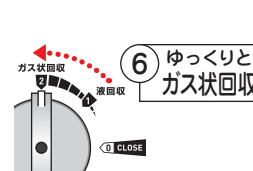
- ⑤ 液回収が終了し、ガス回収に
変わったら、被回収機器と
マニホールドの低圧側を「開」



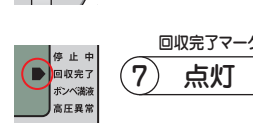
- ⑥ 回収装置のバルブを
ゆっくりと「ガス状回収」側へ回す。
吸引圧力を 0.5MPa 以下に調整



- ⑦ 〈自動停止/自動復帰モードの場合〉
回収完了のマークが点灯し、自動停止。
吸引圧力が 0MPa 以上に上昇すると、
自動復帰。



- ⑧ 〈自動停止モードの場合〉
回収完了のマークが点灯し、自動停止。

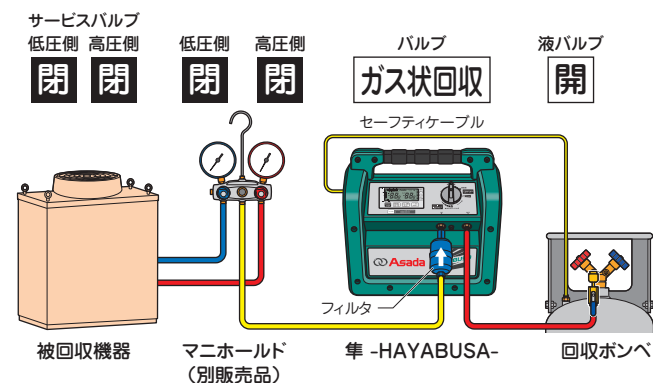


回収終了後 5 ～ 10 分そのまま放置して、
冷凍機油に溶け込んだフロンの蒸発を待ってください。
所定の圧力より圧力が上昇した場合は、再度回収を実施してください。

冷媒種類				充填量	所定の圧力
R12、 R22、 R410A、	R500、 R134a、 R507A、	R502、 R407C、 R404A	R509、 R407D、	2kg 未満	0MPa
				2kg 以上	-0.01MPa

- ⑧ 被回収機器とマニホールドの低圧側・高圧側を「閉」

3 フロン排出(セルフクリーニング)作業



- ① 自動停止／自動復帰／連続スイッチを **連続**
- ② START／STOP スwitch を **START**

※ 起動しない場合は、バルブを左回りにゆっくりと 2 回転させ、**CLOSE** に合わせてから起動する。

- ③ 回収装置のバルブをゆっくりと **セルフクリーニング**
吸引圧力を 0.4MPa 以下に調整

- ④ 吸引圧力ゲージが真空になったらすぐに回収装置の吐出側ホース(赤)のバルブを **閉**

- ⑤ START／STOP スwitch を **STOP**

- ⑥ 回収装置のバルブを **CLOSE**

- ⑦ 回収ボンベの液バルブを **閉**

※ 回収装置内及び吐出側ホースにはガス状冷媒が残っています。真空引きされたボンベを使用して、回収装置内及びホース内のフロンを回収してください。

- ⑧ ホースの接続を **外す**

すべての回収作業が終了

⚠ 注意

- 電源の電圧降下にご注意ください。

防止方法

- ・ できるだけ元電源、回収装置単独で使用する。
- ・ やむを得ず延長コードやリールコンセントを使用する場合は、線径の太いものを使用する。
- ・ コードリールは、巻いたまま使用しない。
- ・ 昇圧器(アップトランス)を使う。
- ・ 2KVA 以上の発電機を使う。

- 周辺温度が高い場合、ボンベの温度・圧力の上昇にご注意ください。

対処方法

- ・ 真空引きされた予備のボンベと交換する。
- ・ サブクールによりボンベを冷却する。
- ・ 回収装置の吸引側の圧力を下げて使用する。
- ・ 別売のクーリングユニットを使用する。

回収時間の短縮方法

- 回収ボンベ内の圧力上昇を抑える(夏場での回収/効率的な段取り)方法

- ・ 日陰の風通しの良い場所に回収機器を設置。
- ・ 回収装置や回収容器を床に直置きせず、床から1m程度はなす。
- ・ 予備の回収容器を日陰に数本用意しておく。
- ・ 周辺温度が高い場合には、空冷凝縮器の効果が低い為、扇風機等で凝縮空気量を増加させる。
- ・ 回収容器を濡れ雑巾などを利用して冷却する。
- ・ 周辺温度が高い場合には、回収容器を扇風機などで強制冷却させる。
- ・ クーリングユニットやサブクールを適時使用する。
- ・ できるだけ液回収を優先して回収する。
- ・ 回収装置の吐出圧力が高くないように、吸引圧力を調整し、回収作業を行う。

- 機器内の圧力低下による効率低下を防ぐ(低温・凝縮液化/効率的な段取り)方法

- ・ 液回収優先した後、液・ガス両側ポートから回収。
- ・ 対象機器のクランクケースヒータを通電したままにする。
- ・ アキュムレータ等に結露したら加温・振動し蒸発を促す。
- ・ 吸引圧力が 0.1MPa 程度で、回収が進まない場合、作業を休止し圧力上昇を待って回収を再開。
- ・ 複数の機器を同時接続し、低温凝縮の影響を低減させる。
- ・ 縦配管が長い場合は、配管下部からも回収を行うことや配管下部を加温・振動し蒸発を促す。

Asada アサダ株式会社

本社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

支店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所
アサダ・タイランド社 (バンコク)
台湾漢田股份有限公司 (台北)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)
アサダ・インド社 (ムンバイ)
上海漢田進出口有限公司 (上海)
アサダ USA (ロサンゼルス)

工場
犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松本市)
アサダ・マシナリー社 (バンコク)
製品の使用方法に関するお問合せは
☎ 0120-114510 (イシゴト)
(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

www.asada.co.jp

Ver.01 コードNo.IM0501 V

出典: 冷媒回収推進・技術センター「冷媒回収処理技術」
(社)日本冷凍空調設備工業連合会「フロン回収ポケットマニュアル」